

徳島県が取り組んでいるLEDパレイ構想に参画する企業をリポートする連載の第2回。今回は(有)ワイ・システムズ(徳島市川内町平石住吉209-5、☎088-666-3533)を紹介する。

同社は、LED/LDの主な材料となる窒化物系ウエハーの検査装置開発ならびに製造・販売を行うベンチャー

企業。徳島健康化学総合センターに開

発・製造拠点を設け、社員13人でありながら、国際的にも高い評価を受けており、徐々に規模を広げている。

徳島から世界へ

LEDパレイ構想

②

ワイ・システムズ

製品である「Y Wafer Mapper シリーズ」は、LEDウエハーのフォトルミネッセンスと膜厚のマッピング測定装置。コンピュータ制御でウエハーに光を照射することで、窒化物の膜厚や発光色の分布を測定し、不具合品の選別を行う

今回の徳島LEDパレ

LEDウエハー検査装置で世界へ

16年に売上高5億円が目標

997年に来日し、独産業技術総合研究所に勤務。その後、99年から徳島大学でLDの研究活動を行い、2002年に同

社を設立した。取引先の企業は、国内はもとより、台湾、韓国、中国、果てはロシアまで広がっている。

う。表面の粗さや透過率測定、レーザー光源の種類や台数のオプションも可能となっている。

LEDメーカーにとつては、ウエハー段階での選別が可能であるため、歩留まりや生産性の向上が図れる。測定対象を窒化系に限定したことで、従来型の装置に比べ低価格を実現した。

種類は、測定ウエハーサイズ2〜3インチ対応

LEDメーカーにとつては、ウエハー段階での選別が可能であるため、歩留まりや生産性の向上が図れる。測定対象を窒化系に限定したことで、従来型の装置に比べ低価格を実現した。

イ構想で得られたメリットは大きく、同構想で構築したネットワークや助成制度を活かし、ウエハー温度測定装置「YGMシリーズ」を開発した。同シリーズの機能は、種類によって、結晶成長速度測定監視、透過分光式半導体温度計、結晶成長中ウエハー温度監視、レ

サー式ウエハー絶対温度測定など様々である。これらの計測機能を組み合わせることで、メーカーや研究機関の需要に沿った独自の計測器を作ることが可能となっている。

同社の販売先は主に海外であり、売り上げの80%を占める。これまで台

取締役社長のイヴ・ラクロア氏



同社の主力

製品である「Y Wafer Mapper シリーズ」は、LEDウエハーのフォトルミネッセンスと膜厚のマッピング測定装置。コンピュータ制御でウエハーに光を照射することで、窒化物の膜厚や発光色の分布を測定し、不具合品の選別を行う

今回の徳島LEDパレ

イ構想で得られたメリットは大きく、同構想で構築したネットワークや助成制度を活かし、ウエハー温度測定装置「YGMシリーズ」を開発した。同シリーズの機能は、種類によって、結晶成長速度測定監視、透過分光式半導体温度計、結晶成長中ウエハー温度監視、レ

同社の販売先は主に海外であり、売り上げの80%を占める。これまで台



主力製品のGS4-WL

湾向けの販売が主であったが、近年、中国向けが急増しており強化を進めている。そして、もう1つの注力地域としては、国内市場での拡販を挙げている。そのため、ま

(浮島哲志記者)